

## 私に何が出来るだろうか

<笑顔を届け、幸せのエッセンスを出していけたら>

藤山 敦子

### ★夢のようなひと時

私にとってデンマーク研修は夢のようなひとときでした。もっとも幸福感が高いといわれるデンマークでは、どんな子育てがされているのかを少しでも感じてこようと、ガチガチに緊張して行ってまいりましたが、すばらしい景色の中ゆったりと流れる時間、あたたかい雰囲気につつまれ、自分を見つめ直すいい機会にもなりました。

### ★望まれて誕生する国の宝

私は人が生まれてから家庭で、保育園で、そして学校へと成長していく過程で、どのような環境でどのような人との関わりの中で人が育っていくのかに興味がありました。

性教育がきちんとされているデンマークでは、ほとんどの子どもが望まれて誕生するという、出産を含め、すべて公共医療でホームドクターや助産師の定期健診から出産まで無料で行われるということ、妊娠中に夫も一緒に呼吸法を学んだり、産後すぐに父親が育児に関わることができるよう、両親での入院が可能だったり、子どもが産まれてからも看護師がマザーズクラブを作ったり、自宅を訪問し赤ちゃんの成長を見守ったり、出産が初めての母親でも安心して子育てできるしくみがあるということ、平均の労働時間が37時間ということで、明るいうちに子どもを保育園まで迎えに行けたり、夕方には家族全員がそろって食事をしてゆっくり会話をしたり、寝る前には絵本を一緒に楽しんだり、家族で過ごす余裕があるということなど、ゆとりの中で家族の時間を大切にでき、だからこそ仕事への意欲も生まれるのでは

ないかと思います。



### ★自分で考え、試し、やってみて

保育園の園庭には至るところに抜け道があり、私もついのもぞいたり行ってみたりしたくなりました。集える空間がたくさんあり、皆でワイワイガヤガヤと楽しむ場所や一人でものんびりゆったりすごせる場所がありました。

自分であそびを見つけ出し、考え、試したりできる工夫がたくさんありました。

あそびの中でも、台にのぼって自分でブランコに乗ったり、高い所の物を取ろうとしたり、机にしようとしてケースを運んで来たり、保育士は乗せてあげたり必要なものを持ってきてあげるのではなく、必要なときにちょっと支えて声をかけ見守るという姿勢がありました。自分で考え、試し、やってみて、うまくいかなければまた考え、試し、やってみます。そこにはその月齢の子たち、発達段階の子たちが、登れるくらいのものであり、できるくらいのおもちゃがあり、自然の中にも安全面が考慮されていました。



### ★やさしくしてね

保育園から学校への移行の時期に、学校生活に慣れるように 0 学年が設けられていたり、学校の授業も、自分で考えたり皆で決めたりという機会をたくさん持ったり、遊びや歌を取り入れ楽しく学習できるように、また、自分で考え学んでいけるように工夫されていました。

授業の中で、リレー形式で走ったり、自分を表現したり、おんぶをして歩くという場面がありましたが、おんぶの時「落とさないように」とか「しっかり足をもって」とかではなく、先生は「やさしくしてね」と声をかけたそうです。

友達との関わり方を体験しながら自分で考え見つけていく方法だと思い、なるほどと思いました。

### ★自分で決めたことに責任をもつ

幼い頃、大人が選んだ安全なものの中から「どっちにする？」と、2つの中から1つを選ぶということから始まり、どれにする？どうする？と考えられるようになり、自分で選

んだことに責任をもつようになってきます。

寒いから手袋やぼうしを準備したり、危ないからやめようと思ったり、毎日の生活の中で経験の中で身についていきます。

人と比べるのではなく、自分自身が昨日の自分よりも上を目指してがんばります。

一人一人が大切にされている中で、自分で選び、自分で決める、自分で決めたことに責任をもつ、その繰り返しが将来自分で自分の人生を選び、生きるよろこび、仕事への誇り、喜びにつながっていくのだと思います。

その年齢、その時期に大切なことを経験し、その体験を通して自分の限界と可能性も身につけ、やがては自立した若者に育っていくのだと思います。

### ★卒園はゴールではない

デンマークは、政府が定めた保育のカリキュラムに基づいて、方針や保育士のやり方などが全ての園で一律であるということ、自分でものごとを考え、判断できる自立した人間になるようにいろいろな面で保障され、一貫した教育がされているということがすばらしいと思いました。

私たちの保育現場では、保育指針はあっても、それぞれの園でやり方がちがいで、卒園までに、ということ意識しすぎて子どもに無理をさせたり、本当の力ではないので保育園では出来ていたことが小学校に行ったらまたはじめからやり直しなどということがあったりします。卒園がゴールではなく、この子たちがどんな大人に育ってほしいかという大きな目標の中で、じゃあ保育園の時は、どうしていけばいいのか、小学校の時はどうしていけばいいのかということを考えていかなければいけないのだと思います。

### ★本当にその人のためになっただろうか

環境や政策など、日本とデンマークは、違



いすぎるのかもわかりません。でも、だから無理なのではなく私たちにできることもあると思うのです。



私たちは保育の現場でも、生活の場面でも、困っている人がいたら助けたい、できないときは手を貸してあげたいと思います。

何か手伝うことはないか、どうやって手を差し伸べようかと思います。まわりの人のことによく気がつき、こう思っているかな、こうした方がいいかな、と思いながら動くのはとてもいいことだと思います。

でも、私が良かれと思ってしたことが、相手にとってはしてほしくないこともあったのではないかと思います。もっとは迷惑な場合もあったかもしれません。上から目線ではなかっただろうか、その人の尊厳を守っていたらろうか、本当にその人のためになっただろうか、その人の将来を考えたらろうか、自分の自己満足だけではなかっただろうか、いろいろ考えました。

### ★自分で考えて行動する力を大切に

私はこれから、子ども達と接する時、今この時を大切にということと、将来を見据えての今を見ていきたいと思います。

今、伝えなければならないことは何なのか、今、感じてほしいことは何なのか、を真剣に考え、一人ひとりを尊重し、自分でしようとする力、考えようとする力を大切にしてい

たいと思います。

そして、今までこうしてきたから、とか、皆がこう言っているからではなく、私はこう思うという意見を持ち、またそれを言える勇気を持てるようにしていきたいと思います。

私に何が出来るだろうかと考えたとき、人を愛する、人を大切にする、子どもを愛する、子どもを大切にするということぐらいです。大きなことはできませんが、自分の意識としてその人の今とその人の将来を見越しての今を考え、人を大切に関わっていきたいと思います。

### ★大切にしていきたい思いは同じ

デンマーク研修はもちろん素晴らしかったのですが、私にとって育成会から4人行かせて頂き、いろいろな話ができたととてもいい学びになりました。

今まで、自分の中で子どもと大人、健常と障がいという風にそれぞれ別のものとして考えていたところがあったのですが、みんな



大切にしていきたい思いは同じなのだと思いました。

あまり他の事業所を見に行く機会がなかったのですが、育成会の中でそんな機会を持

つことで学び合えることもたくさんあるのではないかと思いました。

### ★これからの学びのきっかけに

そして、一緒に研修に参加した様々な職種の方と毎日のように一日の振り返りや、同じテーマで語り合えたこと話を伺えたことが、とてもいい刺激になり勉強になりました。

自分の考えの浅さに狭さに気づけたり、今まで考えもしなかったことを考えたり、これからの学びのきっかけになりました。また、この研修に参加させていただいて、初めて出会った人たちが打ち解けて安心して語り合えるようになったところに自分もいさせてもらって、こうやって安心できる雰囲気を作り出していくのだとか、語り合える環境みたいなものも、自分では出来ないながらも体感することが出来て、いろいろな意味で本当にたくさんのことに気付かせていただくことが出来ました。

### ★時々思い出しながら

これから今の気持ちを忘れないように時々思い出しながら、少しでも少しずつでも職場に生かし、家庭に生かし、自分の人生に生かしていきたいと思います。そして自分から笑顔を届け、幸せのエッセンスを出していけたらと思っています。

最後になりましたが、この研修を支えていただいた中能さんと夏代さん、デンマークで私たちを受け入れてくれた方たち、そして一緒に参加させていただいたみなさん、私を送り出してくれた育成会と職場の皆さん、家族に感謝します。本当にありがとうございました。

